

# 第10回防災運動会 実施報告書

社福祉法人岐阜アソシア

視覚障害者生活情報センターぎふ

## <概要>

日時：平成28年10月8日（土）午前9時～午後2時30分

会場：岐阜県立岐阜盲学校体育館

参加人数：競技参加者・来賓・スタッフ他合計 約160名(内、競技参加者 約120名)

主催：社会福祉法人岐阜アソシア

共催：岐阜県・岐阜県立岐阜盲学校・一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会

協力：自衛隊岐阜地方協力本部

NPO法人レスキューストックヤード

岐阜県聴覚障害者情報センター

岐阜女子大学

後援：岐阜県教育委員会

岐阜市

岐阜中警察署

岐阜中消防署

京町自治会連合会

明德自治会連合会

日本防災士会岐阜県支部

協賛（五十音順）：

株式会社市川工務店

株式会社大垣共立銀行岐阜支店

オオサキメディカル株式会社

奥長良川名水株式会社

尾西食品株式会社

兼山印刷株式会社

河村製紙株式会社

株式会社キクチメガネ

株式会社コガネパン

株式会社十六銀行西野町支店

生活協同組合コープぎふ

株式会社ハウスセンター中部

株式会社藤田商店

三井住友信託銀行株式会社岐阜支店

<プログラム(敬称略)>

09時～ 受付開始(チーム分け)

09時50分～ 開会式・オリエンテーション・ラジオ体操

司会：安藤 幸

手話通訳：岐阜県聴覚障害者情報センター 川村久子、田口小代美

主催者挨拶：社会福祉法人岐阜アソシア 理事長 洪澤一郎

共催者挨拶：岐阜県 危機管理部防災課 課長 西 哲也

来賓紹介：

自由民主党衆議院議員 野田聖子代理 笠井成彦

岐阜市 障がい福祉課 課長 真鍋 晃

岐阜県教育委員会 特別支援教育課長補佐兼特別支援学校整備係長 松原勝己

審査員紹介：

審査委員長 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

副審査委員長 明德自治会連合会 会長 上野裕道

岐阜県 障害福祉課 課長 尾崎浩之

岐阜中消防署 署長 高井啓一

岐阜市 障がい福祉課 管理係長 伊藤 真

岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

開会宣言：一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会 会長 清水和弘

競技説明：NPO法人レスキューストックヤード 椿 佳代、林 大地

ラジオ体操：日本防災士会岐阜県支部

10時30分～ エコノミークラス症候群予防エクササイズ 松浦研一

10時50分～ 種目1 安心・安全 搬送体験

11時20分～ 非常食配布（アルファ米、缶詰、メロンパン、水）

11時30分～ 炊き出し体験（CoCo 壺番屋カレーライス）昼食、喫茶、体験コーナー

13時00分～ 種目2 簡易トイレ誘導體験

13時30分～ 種目3 みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー

14時00分～ 整理体操

14時10分～ 表彰式・閉会式

講評：岐阜中消防署 署長 高井啓一

熊本地震の状況報告：社会福祉法人岐阜アソシア 部長 棚橋公郎

表彰式：優勝 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

2位 明德自治会連合会 会長 上野裕道

3位 岐阜県 障害福祉課 課長 尾崎浩之

4位 岐阜市 障がい福祉課 管理係長 伊藤 真

特別賞 岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

閉会宣言 実行委員長 社会福祉法人岐阜アソシア 常務理事 山田智直

14時30分～ 後片付け

<体験・展示コーナー>

自衛隊岐阜地方協力本部：特殊車両展示、制服着衣体験

岐阜中警察署：パトカー、制服着衣体験

岐阜中消防署：司令車等の展示

岐阜女子大学：岐阜盲学校周辺立体地図

## <今回のポイント>

### (1) 屋内(体育館)にて競技を行いました

当日雨天のため、会場を体育館に変更して開催しました。岐阜盲学校のご協力により内容は屋外と同じ競技を行いました。競技は各1チームずつ行いタイムを計測しました。昼食は、非常食と炊き出し体験として CoCo 壺番屋カレーライスを用意し、皆様に体育館・ランチルームなどで召し上がっていただき、各種体験も楽しんでいただきました。

### (2) 手話通訳者の導入について

今回も手話利用者の参加の可能性を考え、手話通訳をお願いしました。これは視覚障害と同様に情報障害である聴覚障害の方が、情報を共有し内容が理解できるよう配慮したものです。

特に、前回に続き今回も岐阜県立岐阜聾学校の生徒の方々の参加があり充実したものになりました。

### (3) 展示・体験コーナーについて

今回も岐阜中警察署、岐阜中消防署、自衛隊岐阜地方協力本部のご協力により、特殊車両・パトカー・消防指令車の展示、制服体験を行いました。雨天のため、予定されていた地震体験車、岐阜県下唯一の50メートルはしご車の乗車体験は中止となりましたが、多くの方が展示を楽しまれました。

また、岐阜女子大学文化創造学部教授 佐藤正明先生による「岐阜盲学校周辺立体地図(3Dプリンター製作)」の展示も行われました。建物や道路・バス停などを立体的に表現し、交差点や目印となる地点を音声で説明するなど、視覚障害者が地図を理解するための配慮がされていると好評でした。

### (4) 競技内容について

今回は例年行っている搬送リレーを更に安全に配慮した「安心・安全搬送体験」として行いました。また、今回新たな競技として「簡易トイレ誘導體験」を行いました。避難所での大きな問題となるトイレへの不安を取り除くため、健常者が障がい者に簡易トイレの使用方法などを説

明・誘導する実践的な競技となりました。それに加え、毎回好評のバケツリレーの3種目を行いました。

毎回、テーマを持って行っておりますが、今回は『地震』をテーマとしました。今年4月に発生した熊本大地震の記憶も新しく、車中泊が多く発症した「エコノミークラス症候群」の予防エクササイズを元盲学校教諭の松浦研一先生にレクチャーしていただきました。

全ての競技について、実践的にかつ安全に競技に取り組み、競技者全員が楽しく行うことができました。

#### <開催における報道など>

10月9日 中日新聞地方版掲載

10月12日 チャンネルCCNエリアトピックス放送

月刊『視覚障害』11月号掲載予定

#### <まとめ>

今回も様々な団体・企業の皆様に支えられ、雨天にもかかわらず晴天時と同じ競技を行い、盛況のうちに終了することができました。

このような運動会形式の防災イベントが各地で徐々に増えつつある今、その先駆けとして行ってきた「防災運動会」が10回目を迎え、視聴覚障害者情報提供施設による障害者と健常者の架け橋として定着してきたことを感じました。

今後とも、障害者・健常者がともに理解し合う「自助・共助・公助がバランスよく支え合う地域づくり」を目指し、他の防災イベントとは一線を画した行事として確立できるよう努めていきたいと考えております。